



2022年8月5日

各位

会社名 昭和産業株式会社
代表者 代表取締役社長執行役員 新妻 一彦
(コード番号2004 東証プライム)
問合せ先 総務部長 高橋 秀典
(TEL: 03-3257-2182)

通期業績予想（連結・個別）および配当予想に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日に公表した「2022年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の通期連結業績予想および配当予想について、本日開催の取締役会において下記の通り決議しましたのでお知らせいたします。また、当社は個別業績予想を開示していませんが、前事業年度の実績値と比較して差異が生じる見込みとなったことから、通期個別業績予想についても併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期業績予想について

(1) 通期連結業績予想数値（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	338,000	7,300	8,200	4,600	137.70
増減額 (B - A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(参考) 前連結会計年度実績 (2022年3月期)	287,635	5,564	6,576	4,006	120.61

(2) 通期連結業績予想公表の理由

2022年5月13日の時点では、新型コロナウイルス感染症は収束の見通しが立っておらず、ウクライナ情勢の深刻化が経済情勢に与える影響が見通せない中で、当社グループのビジネスを取り巻く経営環境が極めて不透明であったため、未定としておりました。

現在も依然として経営環境は極めて不透明な状況にありますが、第1四半期（4～6月）の業績の動向を踏まえ、現時点において入手可能な情報および予測等に基づいて2023年3月期の通期連結業績予想を算定いたしました。

前連結会計年度実績比較で増収となる要因は、原料穀物相場の高騰、為替相場の急激な円安ドル高の進行、エネルギーコストの上昇に見合った適正な販売価格改定の取り組みを進めていることによるものです。

前連結会計年度実績比較で増益となる要因は、上記に加えてコスト削減の取り組みを進めていることによるものです。

（3）通期個別業績予想数値と前事業年度実績との比較（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前事業年度実績（A）	178,078	2,447	3,343	2,284	68.74
今回発表予想（B）	227,000	4,600	6,600	4,000	119.72
増減額（B－A）	48,921	2,152	3,256	1,715	
増減率（％）	27.5	88.0	97.4	75.1	

（4）通期個別業績予想公表の理由

前事業年度の実績値と比較して、有価証券上場規程第405条第3項の定めに基づく開示が必要な差異が生じる見込みとなったことから、通期個別業績予想についても公表いたします。

前事業年度実績比較で増収・増益となる要因は、「（2）通期連結業績予想公表の理由」で記載した内容と同様です。

2. 2023年3月期配当予想について

（1）配当予想

	年間配当金		
	第2四半期	期末	合計
前回発表予想	—	—	—
今回発表予想	30円00銭	30円00銭	60円00銭
（参考）前期実績 （2022年3月期）	30円00銭	30円00銭	60円00銭

(2) 配当予想の理由

当社は、将来の企業価値の源泉となる成長投資および設備投資とともに、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、長期的に安定した配当の継続を目指しつつ、経営基盤の安定を図ることを基本方針としております。

2023年3月期の配当予想につきましては、前述の通期連結業績予想を踏まえ、財務状態等を勘案して1株当たり配当予想を60円（中間30円、期末30円）といたします。

※上記の業績予想および配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績および配当は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上